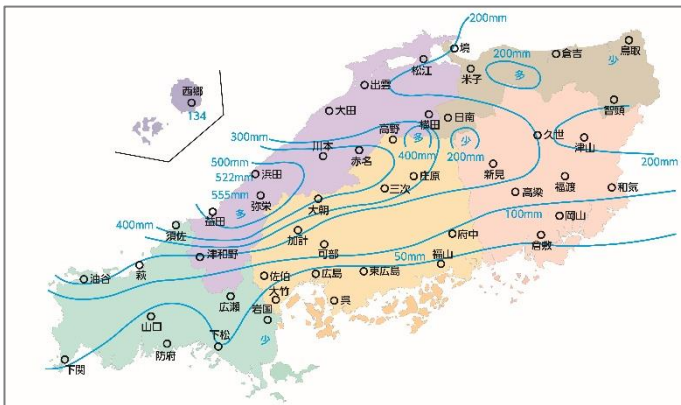


# 昭和 58 年 7 月豪雨

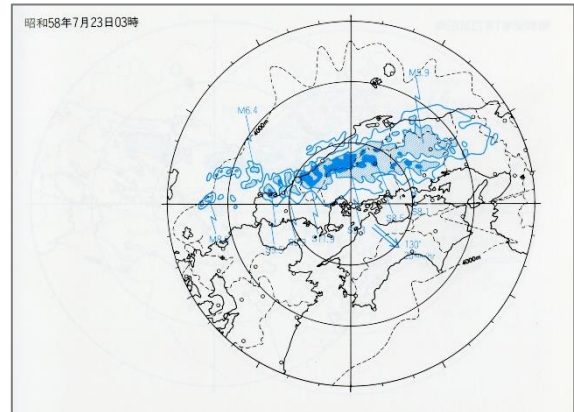
【昭和 58 (1983) 年 7 月 20 日～23 日】

## ■気象の概要

山陰沖に停滞した梅雨前線の影響で 7 月 20 日から 21 日にかけて、中国地方では 100～200mm の降雨がありました。22 日の日中はいったん止みましたが、22 日夜から 23 日朝にかけて前線を低気圧が東進し、南海上から高温多湿な気流が流れ込み（湿舌現象）、島根県西部から広島県北部、山口県北東部にかけて局地的な豪雨となりました。浜田市、益田市では最大 1 時間雨量が 90mm 以上、総雨量は 500mm を超え、一部では 600mm に達する大雨となりました。前年の 7 月 23 日には長崎大水害が発生しており、2 つの災害は気象状況、災害内容など多くの類似点が見られました。気象庁はこの大雨に対して「昭和 58 年 7 月豪雨」と命名しました。



総雨量分布図 (20 日～23 日)



レーダ・エコー図 (7 月 23 日 03 時)

## ■被害の状況

昭和 47 年 7 月豪雨の被害は中国地方の広い範囲に及んでいますが、この豪雨の被害は島根県西部に集中しています。島根県の死者・行方不明は、戦後では昭和 39 年の山陰・北陸豪雨に次ぎ、県西部では戦後最大の災害となりました。被害の大半は中小河川の氾濫と土砂災害によるもので、特に犠牲者の 8 割は崖崩れを中心とした土砂災害によってもたらされました。

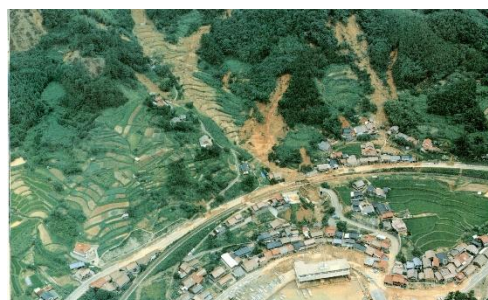
道路網をはじめとするインフラも各所で寸断され、陸の孤島と化した地区も多くあり、島根県の 3 市 8 町 2 村、山口県の 2 町（当時）に災害救助法が適用されています。



三隅川の氾濫により濁流に飲み込まれる民家（島根県浜田市三隅町）



益田川の氾濫で浸水する市街地（島根県益田市本町）



土砂崩れにより寸断された国道 9 号と山陰本線（島根県益田市木部町）



大きくえぐられた国道 9 号（島根県浜田市三隅町）



益田川の氾濫で一面が浸水した益田市街地  
(島根県益田市あけぼの本町)



生々しい氾濫跡の三隅川河口付近  
(島根県浜田市三隅町)

【この項の災害状況写真は、建設省中国地方建設局「昭和58年7月豪雨災害誌」による】

### ■各県別の主な被害

区 分		単 位	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	計
人的被害	死 者	人	0	103	0	0	5	108
	行方不明	〃	0	4	0	0	0	4
	負 傷 者	〃	0	159	0	2	6	167
住家被害	全 壊	戸	0	1,064	1	8	24	1,097
	半 壊	〃	0	1,977	5	3	12	1,997
	一部損壊	〃	0	563	0	14	32	609
	床上浸水	〃	0	6,953	0	73	282	7,308
	床下浸水	〃	1	7,040	51	538	783	8,413
その他	道路損壊	箇所	258	9,370	377	1,293	422	11,720
	橋梁流出	〃	0	633	1	19	6	659
	堤防決壊	〃	0	-	0	-	553	553

(出典：中国地方建設局「昭和58年7月豪雨災害誌」)

### 災害のない明日を目指して

#### ●益田川ダム

平成18年に完成した益田川ダムは、常用洪水吐が河床にあり、平常時は貯水せずに河水や流砂を下流に流すとともに魚類の遡上にも優しく、大量の洪水が流入した時に自動的に貯水する構造の治水ダムです。



小規模出水時の益田川ダム



流木補足工や閉塞防止施設を備えた常用洪水吐のあるダム上流側

#### ●三隅川放水路

三隅川では、昭和63年に下流の三隅川放水路、平成2年に上流の御部ダムが完成しています。



## 災害の記憶を伝える

島根県西部には、昭和58年7月豪雨災害の犠牲者を追悼し、災害の記録や復旧事業の完成を記した碑やモニュメントが建てられています。



出羽川竣工記念碑(邑南町下口羽)

災害後に江の川の支流、出羽川水系で実施された復旧事業の概要が刻まれています。

※碑の写真をクリックすると位置が表示されます



殉職遭難者之碑  
(浜田市穂出町)



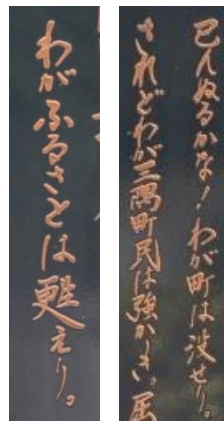
中場地すべり対策事業竣工記念碑  
(浜田市穂出町)

山崩れにより15人が犠牲となった浜田市穂出町中場地区には、追悼の碑と地すべり対策事業の竣工記念碑が建てられています。碑の「漸(ぜん)に杜(ふさ)ぎ、萌(ぼう)に防ぐ」とは、危険なことに対しては常に注意を払い、その兆しがあれば速やかに手当てをする、という意味です。



静流の鐘塔(浜田市三隅町古市場)

三隅川のほとりに立つ鐘塔は、鐘の音が33名(旧三隅町域)の犠牲者の鎮魂歌になるようにと祈念して平成元年に建てられました。碑文には、壊滅的な被害から三隅町が力強く復興を遂げたことが宣言されています。



五十八年山陰豪雨災害追悼之碑(浜田市三隅町岡見)

岡見地区の観音山の大規模な山崩れによって犠牲となった13名を追悼するため、平成14年に防災広場に建立されました。



防災祈念碑  
(益田市本町)



益田公民館の浸水位標識  
(益田市本町)



益田小学校の敷地内に建てられた防災祈念碑の横の石柱には、市内各所の浸水位が刻まれています。また、祈念碑と道路を挟んだ益田公民館の壁には、当時の水位をしめす標識が設置されています。